

高等教育活性化シリーズ 424 (通算 756 回)

2021年11月12日(金)

リカレント教育の本格展開 ―

職業実践力育成／履修証明プログラムの運用と検証

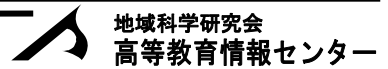
～ 創設6年のBP／自由度の高いプログラムの功罪／単位授与・認定／期間と学費 ～

- ※ BP認定制度のねらいとあゆみ／地域・職業の現場の知／学術と職業の往還／学位・資格枠組み
- ※ 履修証明制度の意味／編成・体制・実施・質保証／自由度の高いプログラムの功罪／役に立つ？
- ※ [高崎健康福祉大] 修士課程の一部をBPに再編成／何故BPか／4要件への対応／運用と今後
- ※ [山形大] 地域定住農業者育成と“食と農のビジネス塾”というBP／もう一つの履修証明・塾
- ※ [関西学院大] 女性のハッピーキャリアP／13年余で3コースに進化／オンライン活用の大学連携
- ※ [東北学院大] コミュニティソーシャルワーカーのスキル向上／プログラムの実際／5年間の検証

● 講師陣 ●

- 吉本 圭一 氏 / 滋慶医療科学大学 大学院医療管理学研究科 教授
日本職業教育学会 会長 日本インターンシップ学会 会長
- 稲永 由紀 氏 / (国) 筑波大学 大学研究センター 講師
- 東福寺幾夫 氏 / 高崎健康福祉大学 大学院健康福祉学研究科 医療福祉情報学 専攻長
- 小沢 亙 氏 / (国) 山形大学 農学部 教授 地域定住農業者育成コンソーシアム 事務局長
- 大内 章子 氏 / 関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究科 教授 女性活躍推進研究センター長
- 阿部 重樹 氏 / (学) 東北学院 常任理事(総務担当) 元 地域共生推進機構長

2021年11月12日(金曜日) 日本教育会館 会議室(東京・神保町) & オンライン



日時: 2021年11月12日(金) 10:00 ~ 16:30

会場: 日本教育会館 会議室(東京・神保町)

千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833

アクセス: 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」

A1 出口より徒歩3分

<https://www.jec.or.jp/access.html>

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名(資料代込) 42,000 円(税込)

B. メディア参加(資料・音声 CD 送付)

44,000 円(送料、税込)

C. 高等教育同人(☆) 21,000 円(税込)

※ 「オンライン当日参加」は、ウェブ会議システム「Zoom (ズーム)」を使用予定です。

※ メディア参加とは、開催当日に聴講が難しい方の参加形式です。開催後に当日配布資料及び講義の音声を収録したCDを送付します。

※ 当日参加とともに音声 CD をご希望の方には、別途販売いたします。お手数ですが、お問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。

☆ 高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認願います。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、

FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込でお願いいたします。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

口座名 (株) 地域科学研究会

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10

ライオンズマンション平河町 101

Tel: 03(3234) 1231 Fax: 03(3234) 4993

E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj>



(※参加申込みの折は、必ず下記事項をご記入の上、FAX か E-mail にてお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 424

(該当する□に✓印を)

年 月 日

職業実践力育成／履修証明プログラムの運用と検証

当日会場参加

オンライン当日参加

メディア参加

勤務先 _____

必要書類

請求書

見積書

領収書

所在地 (〒 _____)

(請求書等記載の宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 }	<p>□ 職業実践力育成プログラム（BP）の認定制度のねらいとあゆみ ～ 複線型教育体系への展開／学位・資格枠組みへのシナリオ～</p> <p style="text-align: right;">滋慶医療科学大学 吉本 圭一</p> <p>1. 高等教育／第三段階教育における職業実践的アプローチとしてのBP制度 (1) 中教審「キャリア教育・職業教育答申」の複線型体系提起とその波紋 (2) 職業実践専門課程から、BP、専門職大学等への展開 (3) 「2040年にむけた高等教育のグランドデザイン」と機能的分化 (4) 学修成果の把握困難と内部質保証システム</p> <p>2. BP制度のねらいと展開、達成された課題・残された課題 (1) リカレントな学習、学習者の学習展開への柔軟な接続のモデル提供 (2) 地域・職業の現場にある文脈知の効用 (3) 職業・社会への移行を促すコアとしての職業統合的学習 (4) 地域・職業の広範なステークホルダー参画のガバナンス</p> <p>3. 学術と職業の複線的で往還的なアプローチと学位・資格枠組み（NQF） (1) 仕事と組織、教育の官僚制パラダイムと柔軟性パラダイム (2) 学位・資格枠組み（NQF）による教育・職業の柔軟な接続関係形成 (3) 学術と職業の往還的なコンピテンシー形成 (4) 第三段階教育の複眼的アプローチと質保証 (質疑応答)</p>
11:00 }	<p>□ 履修証明プログラム（特別の課程）の制度・運用と質保証 ～ 自由度の高いプログラムの功罪～</p> <p style="text-align: right;">(国) 筑波大学 稲永 由紀</p> <p>1. 履修証明制度創設の意味 (1) 「いつか役に立つ」修了証明書 (2) 生涯学習社会の観点から見た高等教育の競争力 (3) 真の「高等教育ユニバーサル化」時代へ (4) チャレンジ：成人学習と職業・専門職教育</p> <p>2. 履修証明制度の現在 (1) 編成 (2) 体制 (3) 実施 (4) 質保証</p> <p>3. 履修証明制度の将来展望 (1) 「いつか役に立つ」修了証明書はいつ役に立つ？ (2) トランスファラビリティ (3) エンプLOYアビリティ (4) 履修証明制度を軸にした第三段階教育の再設計 (質疑応答)</p>
ケース・スタディ	
12:00 }	<p>A. [高崎健康福祉大] 医療福祉情報学専攻修士課程のBPへの再編成 ～ BP認定のねらいと申請プロセス／運用と今後～</p> <p style="text-align: right;">高崎健康福祉大学 東福寺 幾夫</p> <p>1. 高崎健康福祉大学の理念と組織 (1) 建学の理念 (2) 大学組織 (3) 各学部・研究科の目標と成果</p> <p>2. 医療情報学科と医療福祉情報学専攻 (1) 医療情報学科の教育目標と実績 (2) 医療福祉情報学専攻の教育目標 (3) 医療福祉情報学専攻の教育実績 (4) 医療福祉情報学専攻の展開方針</p> <p>3. 医療福祉情報学専攻におけるBP認定と運用 (1) 教員組織とカリキュラム (2) 社会人学生への対応 (3) BP認定と運用の実際 (質疑応答) (4) BPの課題と今後の改善方策</p>
13:40 }	<p>B. [山形大] “食と農のビジネス塾”のプログラム設計と運営の実際 ～ 履修証明・食の6次産業化プロデューサー・レベル3の授与～</p> <p style="text-align: right;">(国) 山形大学 小沢 互</p> <p>1. 農業生産の担い手の現状と事業の経緯 (1) 農業生産の担い手の高齢化と減少 (2) 担い手に必要なスキルとサポート (3) スキルアップとサポートを融合した事業構築</p> <p>2. 地域定住農業者育成事業と“食と農のビジネス塾” (1) 地域定住農業者育成事業の概要 (2) “食と農のビジネス塾”の概要 (3) 履修証明と食の6次産業化プロデューサー・レベル3</p> <p>3. 地域定住農業者育成事業の実績と展開 (1) 地域定住農業者育成事業の実績 (2) 社会人のスキルアップと学生教育の融合 (3) もう一つの履修証明－農業スタートアップ塾 (質疑応答)</p>
14:40 }	<p>C. [関西学院大] 履修証明プログラムによるBP認定と運用の実際 ～ 「ハッピーキャリアプログラム」の設計と大学・自治体との連携～</p> <p style="text-align: right;"><オンラインでのご出講> 関西学院大学 大内 章子</p> <p>1. プログラム創設の背景：女性のキャリア形成～就業継続と管理職昇進の問題 2. 国のリカレント教育推進の動き 3. ハッピーキャリアプログラムの進化 (1) 社会人学び直しプログラムの創設と本学独自継続～「女性の仕事復帰・起業コース」の誕生と履修証明プログラム (2) 「女性リーダー育成コース」開設とBP・教育訓練給付金講座認定 (3) 大学連携オンラインコースの開設とプログラム改訂 (4) 自治体との連携 (質疑応答) 4. 人生100年時代の男女のためのリカレント教育へ</p>
15:40 }	<p>D. [東北学院大] コミュニティソーシャルワーカー（CSW）スキルアッププログラム（履修証明プログラム） ～大学という資源活用による地域課題解決への寄与事例として～</p> <p style="text-align: right;"><オンラインでのご出講> (学) 東北学院 阿部 重樹</p> <p>1. CSWスキルアッププログラムはどのように生まれたのか (1) 開発の経緯 (2) 取組みの背景的要因～BPへの申請 (3) プログラム構想の持つねらい</p> <p>2. CSWスキルアッププログラムの実際 (1) 概要～受講資格・履修期間・講義スケジュール (2) 講義概要～5つのカリキュラム・ポリシー、カリキュラム構成など (3) 運用とフォローアップ体制</p> <p>3. CSWスキルアッププログラム5年間の実績と今後の展望 (1) コロナ禍でのプログラム運営と自己点検・評価 (2) 5年間の実績と見えてきた課題 (3) 今後の展望 (質疑応答)</p>